

## 第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会 人口・交流拡大WG部会 議事録

○日 時 平成23年7月12日（火）午20時から21時まで

○会 場 美濃加茂市生涯学習センター203会議室

○参加者 美濃加茂市 高井俊樹 委員（部会長）

川 辺 町 太田悟実 委員（副部会長）

富 加 町 熊崎満夫 委員

七 宗 町 吉村研 委員

事務局：定住自立圏推進室：遠藤比路子係長・三品よし子 川辺町：竹内康人

富加町：石井秀樹

（自己紹介）

太田委員：外国籍の方をどう定住させるか、互いにどう魅力があるようにしていくか、が問題である。また、ボランティア団体は市内に多くあるが、どうやって協力していくか。海外にも発信していきたいと考えている。

熊崎委員：富加小学校で子どもの数が減っている。子どもたちが教育を受けられる環境づくりに取り組みたい。また、生涯学習を通じて仲間を増やしたり、市町村のお互いの講座を利用できるようにしたいと考える。

吉村委員：手作りをモットーにNPOの活動を、様々な団体と関わりを持ちながら行っている。そういった関わりも活用していけるとよい。

### 1 懇談会、部会のあり方について

事務局：本年度の部会にあり方を説明する。

全委員：了承

### 2 役員の選出（部会長・副部会長の選任）

部会長：高井俊樹委員

副部会長：太田悟実委員

### 3 平成22年度安心安全向上ワーキング提案事業について

事務局：平成23年度第1回目のワンワールド委員会の内容の説明、22年度の人口・交流部会の活動内容の説明

太田副部会長：ワンワールドの立場はどうなるか。

事務局：推進本部やプロジェクトチームは、行政の担当で組織されている。ワンワールド委員会はそれとは別の、独立した機関である。

高井部会長：懇談会では、ワンワールド委員会や、プロジェクトチームからの提案に対して意

見を出していくということか？

事務局：その通りである。

太田副部長：今年は懇談会が 3 回あると聞いたが、その際にワーキングでの話し合いをするということか。

事務局：複数の事業があれば、懇談会で話し合うより、ワーキングで分かれたほうがよいと考える。

高井部長：ワンワールド委員会には、富加も七宗も団体が存在すれば、参加していただきたい。ワンワールド委員は、それぞれが大変熱心にそれぞれの活動に取り組んでいる。

吉村委員：イベントは一過性で終わらないよう、継続する力が必要である。

熊崎委員：つながりの場を持つことが必要だと考える。富加の国際交流協会もワンワールドに加入するとよいと考える。

高井部長：わずかな予算でも取組可能なことはあると考える。

ビジョンの目的に立ちかえりながら進めることが重要だと思う。委員の決議として、ワンワールド委員会に協力することとする。吉本を上手く活用できるとよい。